

イスラーム教の世界観と啓示と預言者

- 1, イスラーム教の世界観：ユダヤ教・キリスト教の世界観と基本的に同一・・・一神教の世界観
- ・ 基本的構成要素：唯一神＝創造主＝全知全能＝絶対者＝永遠
  - ≠ 世界の全て＝被造物＝限界＝依存者＝有限

هو الله وحده لا شريك له

【2 (牝牛) : 256 [255]】 (「台座／王座」の節)、【59 (追放) : 22-24】、等々

- ・ 唯一神が創造し管理する世界：【10 (ユース) : 3-5】、【57 (鉄) : 4-6】
- 6日間で世界を創造し休まずに管理し続ける・・・「創世記」との違い
- 人類の創造＝【2 (牝牛) : 28 [30]-37 [39]】、【35 (天使) : 37 [39]】
- ・・・地上における神の代理／神の教えに背く存在
- 天使と悪魔と失樂園＝【9 (胸壁) : 9 [10]-24 [25]】、【15 (アル・ヒジュール) : 26-50】
- 終末と「審判の日」＝【58 (言いがかりをつける女) : 7 [6]-11 [10]】
- 【83 (量りをごまかす人々)】、【99 (地震章)】、等々
- 来世＝樂園 (ジャンナ) と火獄 (ジャハンナム地獄)
- ＝【35 (天使) : 30 [33]-35 [37]】、【47 (ムハンマド) : 16 [15]-17】
- 【52 (山) : 22-28】、【55 (お情ぶかい御神) : 56】
- 創造から終末に向かって流れる単線的時間・世界観

2, 啓示と預言者

- ・ 啓示 (ワフイ وحى) : 神が人間を樂園に導くために下す言葉＝啓典 (キターブ كتاب)
- 「原典」＝「啓典の母体」【13 (雷鳴) : 39】
- 「保管された書板」【85 (星の座) : 22-23】
- クルアーン以前にも様々な啓示を下す＝トゥラー (律法)、インジール (福音) 等
- クルアーン＝先行する啓典の確証・・・【3 (イムラーン一家) : 2-3】
- 「(正邪を) 区別する基準 (フルカーン)」
- ・ 預言者＝啓示を下す対象とする人間
- 啓示の下る手順＝神 → 天使 → 預言者

アダムからムハンマドに至る預言者の系譜＝【2（牝牛）：129 [135]-130 [136]】

【4（女）：161 [163]-164 [166]】

不変の真の一神教＝純粹信仰（ハニーフィーヤ）

＝アブラハム（イブラーヒーム）の宗教

アブラハムの系譜を引く預言者たち

ノア（ヌーフ）、モーセ（ムーサー）、イエス（イーサー）など

【19（マルヤム）：31 [30]-35 [34]】

【26（詩人たち）：9 [10]-67】、【71（ヌーフ）】

… 聖書に登場する預言者たち

フード、サーリフ【11（フード）：52 [50]-70 [67]】

… 聖書に登場しない預言者たち

クルアーンにも聖書にも登場しない数多くの預言者たち

・ムハンマド＝「預言者の打ち留め خَاتَمُ النَّبِيِّينَ」【33（部族同盟）：40】

先行する預言者たちが下した真の一神教を誤解・改変してきた人々

＝クルアーン以前の啓典を伝えられた人々

ユダヤ教徒、キリスト教徒など＝「啓典の民」

モーセやイエスの伝えた真の一神教の啓示を確証・更新する預言者

## 参考文献

大川（黒宮）玲子「『書かれたもの（キターブ）』と運命論：クルアーン、『天の書板』、『記録の書』」『オリエント』第45巻第1号（2002年）

大川玲子『聖典「クルアーン」の思想：イスラームの世界観』（講談社現代新書、2004年）

小杉泰『「クルアーン」：語りかけるイスラーム』（岩波書店、2009年）

松山洋平編『クルアーン入門』（作品社、2018年）

リチャード・ベル『コーラン入門』 医王秀行訳（ちくま学芸文庫、2003年）